

鬼峠フォーラム2018（第12回）

2018年3月10日（土）～11日（日）

- 主催 鬼峠フォーラム実行委員会
- 共催 占冠村公民館（自主創造プログラム）
- 後援 スローフードしむかっぴ

●開催趣旨

今はなき、占冠中央から二二ウへ通じる「鬼峠」。すべての人、すべての物資が通ったこの峠をスノーシューで辿り、二二ウで暮らした当時の人々と心を通わせ、現代の豊かさを問う。

○今年は二二ウと関わりの深い建築家・下村憲一さんの講演会を実施します。

○鬼峠越えは初めて二二ウから出発し、道の駅に向かいます。

「鬼峠とは…」

昭和56年まで鉄道もなく陸の孤島といわれた占冠。二二ウはその占冠からさらに鬼峠を越えて3時間の集落だった。現在の鵜川に沿った占冠～二二ウ間の道が出来たのは昭和35年のこと。入植のはじまった明治41年からこの道が出来た昭和35年まで実に50年以上、最盛期には30戸もの人々が住んだ二二ウへの唯一の道がこの「鬼峠」だった。この道を通り、夢を求め入植した家族、嫁いできた女、逃げていった男、すべてのひと、すべての物資、そしてひとびとの夢や想いも、すべてこのまぼろしの峠を越えていったのだ…。

●日程（※部分参加も可）

3月10日（土） 会場：占冠村コミュニティプラザ会議室

14:00～17:00 鬼峠ミーティング
・講演「二二ウ自然の国で見た夢」
建築家 下村 憲一 氏

18:00～
鬼峠交流会（コミュニティプラザ和室）

3月11日（日）

8:00 道の駅「自然体感しむかっぴ」集合

8:30 二二ウへ移動（バス予定）
・二二ウ神社雪下ろしと安全祈願
・スノーシューで鬼峠（2代目）越え

※6～7時間程度、雪の上を歩く体力が必要です。

16:30 道の駅にて解散



【参加費など】

- 鬼峠ミーティング、鬼峠越え 参加無料
- 定員 鬼峠越えは定員 20 名、講演会・交流会は人数制限なし。
- 鬼峠交流会
参加費 1,500 円+1 品持ち寄り+飲み物代

●持ち物

・峠越え参加の方

スノーシュー、ストック、弁当（保温の工夫を）、飲み物携帯食、防寒着、着替え

※プローブ（ゾンデ棒）、携帯ショベルをお持ちの方はお願いします。

※スノーシューレンタル希望の方は、事前にお申し込みください。

・交流会

みなさんからの1品持ち寄りをお願いします。（できれば、地域の食材を使ったものや、昔からある料理を少量でお願いします。）

お持ち帰り用タッパも各自お持ちください。

※宿泊が必要な方は、ファームインひだか くるみちゃんハウス（tel 01457-6-3107）、湯の沢温泉 森の四季（tel 0167-56-2311）、ファームイン・のら（tel 0167-56-2685）、遊季館（tel 0167-56-2328）などへご自身で予約をお願いいたします。

●参加申し込み（3月8日締め切り）

占冠村公民館（教育委員会）

TEL：0167-56-2183 FAX：0167-56-2886

【講師紹介】 下村 憲一 氏

1946年苫小牧生まれ。株式会社環境設計代表。日本建築家協会登録建築家。代表作品に石狩市民図書館、長沼町総合保健福祉センター、帯広市図書館など。

北海道大学講師、北海道工業大学教授、日本建築家協会理事・北海道支部長などを歴任。

1980年代のはじめにニニウ地区の将来像を描いたニニウ自然の国構想には当初より関わり、「ニニウ自然の国占冠村サイクリングターミナル」の設計で、1986年日本建築学会北海道建築奨励賞を受賞。

